

みずほCustomer Desk Report 2024/09/20号 (As of 2024/09/19)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	143.65
TKY 9:00AM	142.71	1.1115	158.66	GBP/USD	1.3204
SYD-NY High	143.95	1.1178	159.95	AUD/USD	0.6767
SYD-NY Low	141.90	1.1069	157.92		
NY 5:00 PM	142.63	1.1162	159.12		
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	42,025.19	522.09	日本2年債	0.3800%	0.0100%
NASDAQ	18,013.98	440.68	日本10年債	0.8500%	0.0300%
S&P	5,713.64	95.38	米国2年債	3.5855%	▲0.0400%
日経平均	37,155.33	775.16	米国5年債	3.4851%	▲0.0069%
TOPIX	2,616.87	51.50	米国10年債	3.7179%	0.0056%
シカゴ日経先物	37,695.00	1,175.00	独10年債	2.1910%	0.0015%
ロンドンFT	8,328.72	75.04	英10年債	3.8905%	0.0450%
DAX	19,002.38	290.89	豪10年債	3.9350%	0.0800%
ハンセン指数	18,013.16	353.14	USDJPY 1M Vol	11.77%	▲0.40%
上海総合	2,736.02	18.74	USDJPY 3M Vol	11.78%	0.07%
NY金	2,614.60	16.00	USDJPY 6M Vol	10.78%	▲0.05%
WTI	71.16	1.28	USDJPY 1M 25RR	▲1.21%	Yen Call Over
CRB指数	282.19	2.37	EURJPY 3M Vol	10.61%	0.01%
ドルインデックス	100.61	0.02	EURJPY 6M Vol	9.98%	▲0.12%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月19日	10:30	豪 雇用者数変化	8月 47.5k	26.0k
	10:30	豪 失業率	8月 4.2%	4.2%
	20:00	英 英中銀政策金利	-	5.0%
	21:30	米 フィラデルフィア連銀景況	9月 1.7	0
	21:30	米 新規失業保険申請件数	14-Sep 219k	230k
	23:00	米 中古住宅販売件数	8月 3.86m	3.90m

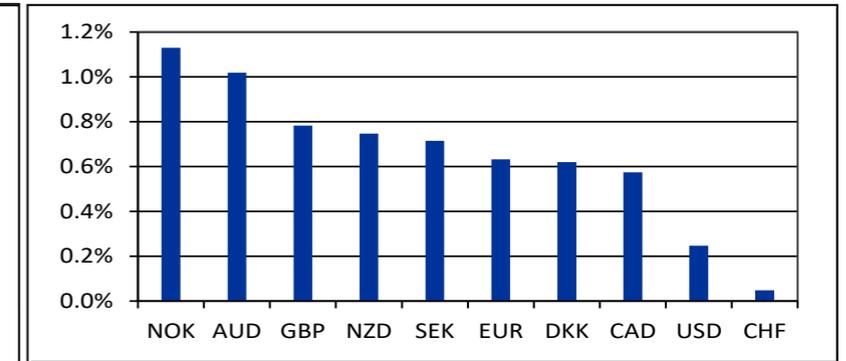
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月20日	08:01	英 GfK消費者信頼感	9月 -13	-13
	08:30	日 全国CPI/コア/コアコア	8月 3.0%/2.8%/2.0%	2.8%/2.7%/1.9%
	12:00頃	日 日銀政策金利	-	0.25%
	15:00	英 小売売上高(除自動車燃料前月比/前年比)	8月 0.5%/1.1%	0.7%/1.4%
	15:00	独 PPI(前月比/前年比)	8月 0.0%/-1.0%	0.2%/-0.8%
	21:30	加 小売売上高(前月比)	7月 0.6%	-0.3%
	23:00	欧 消費者信頼感・速報	9月 -13.2	-13.5

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	141.90-144.00	1.1050-1.1190	158.00-160.50

【マーケット・インプレッション】

昨日は東京時間午前中は既存のドル売りの調整に144円目前まで買われた。一方、その後欧州時間にかけてはドル売りが出る流れに142.05まで下落。ただし北米時間は堅調な米指標に143.76まで反転上昇。クローズは142.63と東京オープンと同レベル。一日の中で“上がって、下がって、上がって、下がる”という相場つきだった。FOMCでは50bpの利下げが決定、50bpという幅自体は(マジョリティではなかったとはいえ)事前に予想していた参加者が一定数いた。ただ、50bp下げてUSD/JPYが142円台という予想をしていた向きはほとんどいないのでは。その意味で円のロングポジションがペイ的な状態で溜まっているだろう。明日の日銀で円買い材料が出ない限り、一段と円ロングが切られる図式で円売り、USD/JPYは上値余地があるかもしれない。

東京	142.71レベルで東京マーケットオープンを迎えたUSD/JPYは10時半ごろまではドル売りの調整が出る格好に上昇、東京時間の高値となる143.95まで上伸。ただ、その後は金利低下を眺めながら反転下落。142.48の東京安値を付けたのち、142.71レベルで欧州へ渡った。FOMC明けで内容の消化中、方向感の見極めに迷う日だった。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、142.71レベルでオープン。昨日のFOMCを受けて欧州時間はドル売りで始まり142.05まで売られる。堅調な欧州株も相まってドル円は早々に反転すると今度は143.23まで上昇。結局142.93レベルでNYに渡った。ロンドンドルは、1.3237レベルでオープン。正午に英中銀が金利据置きを予想通り決定したが、事前予想よりも据置き票が多かったことが効率的に捉えられ1.3314まで買われ、1.3286レベルでNYに渡った。本日、いずれも予想通りだったが、ルウェー中銀とトルコ中銀は政策据置きだった一方で、南ア中銀はレポレート0.25%ポイント引き下げた。通貨ラウンドの反応は限定的だった。
ニューヨーク	海外市場のドル円は142円台前半でスタート。前日に発表されたFOMCの結果を受け、日経平均株価が一時的約1000円超上昇する展開を背景とした円売りが優勢となり、143.95まで上昇。しかし、その後は米金利が低下する動きが重しとなり、一転反落し、142.93レベルでNYオープン。朝方に発表された米新規失業保険申請件数が約4か月ぶりの低水準の結果となり、発表後は米金利の上昇に伴ったドル買いが優勢となり、143.76まで戻す。しかし、その後は米金利が上昇幅を縮小する動きを受け伸び悩み、142.70付近まで反落。午後は米金利が低水準で推移する展開が一段の重しとなり、終盤にかけては142.54まで値を下げ、その後142.63レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.11台前半でスタート。欧州株高や、米金利の低下を受け、ユーロドルは底堅く推移し、1.1159レベルでNYオープン。午前中は先述の健全な米労働市場を示唆するような結果を受け、ドル買い地合いが重しとなり、1.1117まで下落。午後は米金利の低下が支えとなり、1.1167までじり高で推移し、1.1162レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。